

今週は、あの猛暑も落ち着き、例年の北海道の夏の陽気でしたね。あの寝苦しい熱帯夜からも解放されぐっすりと眠ることもできたのではないのでしょうか（笑）

白ゆりっ子達の園生活も猛暑対策として、園庭遊びや体操などの動的な遊びを中止しておりましたが、今週は通常の保育カリキュラムに戻しました。それぞれの学年で、そろそろ運動会に向けての活動も始まります。

「一人ではできないことも仲間と力を合わせればこんなでっかいこともできるようになる！」

運動会に向けて、小さな努力、をコツコツと積み重ねる白ゆりっ子達です。

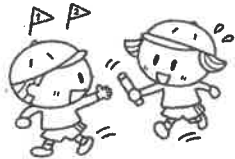
### ■□■お名前列車■□■

朝の会で、担任が出席番号「1」の子の名前を呼びます。呼ばれた子は「ハイッ元気です！」と大きな声で返事をして、次のお友達の名前を呼んであげます。

年中・長児は、参観日の際にご覧頂いたことがあると思いますが、年少児も「お名前列車」に挑戦です。

「次のお友達は誰だっけ??」と一生懸命に考える表情がとっても可愛いですよ（笑）

まだまだスムーズには繋がりませんが、次回の参観日でご覧頂けると思います。その姿からお子さんの成長した姿をお確かめ頂けると思います（笑）



### ○●○お願い○●○

運動会の練習が本格的に始まる9月になると、園外での活動が中心になります。女の子は、髪の毛の縛り方によっては帽子が脱げてしまう子がたくさんおります。夏空の下での活動になりますので、縛り方に配慮され脱げないようにしてあげて下さい。また、帽子のゴムひもが伸びてしまっている子も多数おります。今一度、お子さんのゴムひもの確認をお願いします。

年長児は、リレーの練習も始まります。サイズがあっていない靴は、お子さんの負担を大きくしてまいります。ピッタリサイズで走りやすい靴にしてあげて下さい。



### ☆☆凄いで！つぼみぐみ☆☆

毎週水曜日は、子育て応援 café「nicocafe」がつぼみハウスで開催されることから、つぼみぐみの子供達の活動は本園舎で行います。

主にホールで活動するのですが、つぼみぐみの子供達の成長した姿には目を見張るものがあります。

教師の話聞く姿勢をはじめ、色々な活動に意欲的に取り組む姿からは、もう幼さは感じませんよ（笑）

他の学年の子達と集団で遊ぶ姿も見られるようになりました。つぼみぐみの子供達はもちろんですが、教師達の頑張りも蓋めてあげたいですね（笑）

### = 読書の好きな子に =

本は人生をより豊かにし、より深く生きるための力を身に付ける上で欠かすことができませんね。本を読むことで、多くの知識を獲得し、読解力や想像力、思考力や表現力、多様な文化への理解力が深まります。

2022年の調査で、小・中学生の不読者率は減少にあるようですが、高校生の不読者率は高いことが指摘されています。

本を読むことが好きになるために、乳幼児期から好きな人や信頼できる人に本を読んでもらい、「絵本は楽しい」「読んでもらうことは嬉しい」という経験を積むことが大切です。このような機会を大人が設けなければ子供は絵本の魅力を学ぶことができません。

ご承知の通り、白ゆりっ子達は毎日の園生活で絵本に触れています。教師達からの読み聞かせはもちろん、自ら読んで、絵本の楽しさを体験しています。

幼児期から児童期になると、絵本や児童書、図鑑などを見て、楽しさと一緒に「解る、喜びも経験します。

思春期になると、友達や先生に影響されたり、探求学習がきっかけとなり、文学や自然科学、社会科学の書籍や新聞、図鑑などの資料に広がり、自ら学ぶ楽しさや新たなことを知る喜びとなっていきます。

お父さんやお母さんが注意しなければならないのは、お子さんが読書をしないからといって強制的に読ませることです。余計に本嫌いになってしまいます。

まずは、お子さんの「好きなことは何か？」を知ることです。

アニメなのか!? スポーツなのか!? 我が子が好きなことに没頭できる環境を作ってあげることから始めましょう!

野球が好きで、大谷翔平に憧れて大谷翔平関連の本を読むかもしれません。お城や歴史に興味があるならお城の写真集でもいいですよ… アニメや映画が好きなら、原作や関連本を読みたくなることもありますね。

面白いこと、大好きなことをもっと面白くするために、面白いこと大好きなことの意味や価値を探究するために、本を読むことを好きになってくれれば… 嬉しいですね。

東京家政大学 岩立 京子さんの手記より